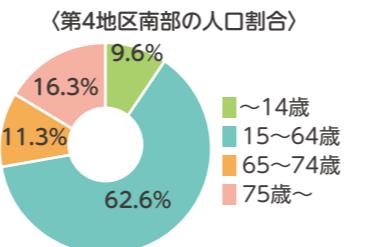


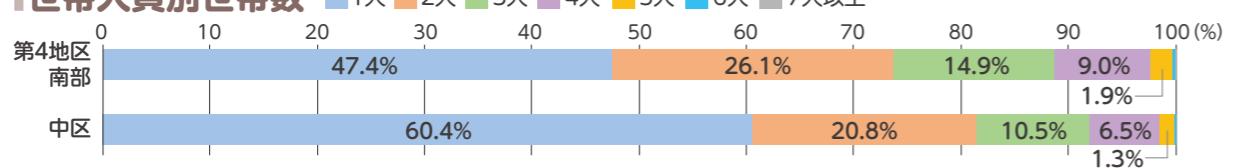
## 第4地区南部の統計データ

## 人口

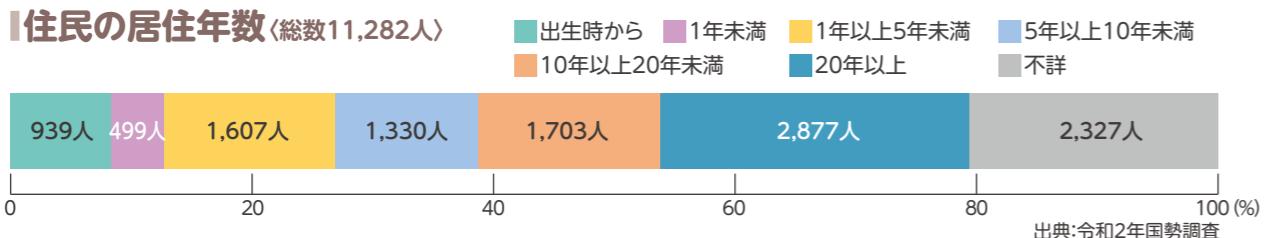
|        | 合計       | ~14歳    | 15~64歳   | 65~74歳  | 75歳~    |
|--------|----------|---------|----------|---------|---------|
| 第4地区南部 | 11,250人  | 1,085人  | 7,045人   | 1,281人  | 1,839人  |
|        | 100.0%   | 9.6%    | 62.6%    | 11.3%   | 16.3%   |
| 中区     | 155,313人 | 14,103人 | 104,356人 | 16,773人 | 20,081人 |
|        | 100.0%   | 9.0%    | 67.1%    | 10.8%   | 12.9%   |



## 世帯人員別世帯数



## 住民の居住年数



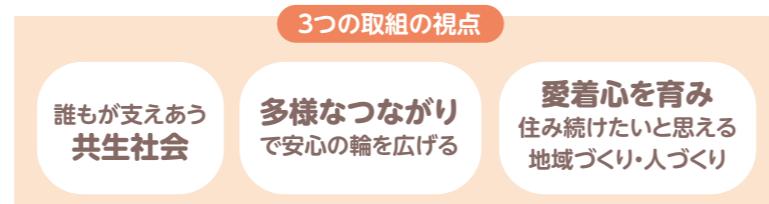
人口の約3割が高齢者であり、中区の平均と比較してもやや高い割合となっています。世帯人員は半数以上が2人暮らし以上となっており、中区の平均と比較すると割合が高く、複数人世帯が多いことがわかります。

住民の居住年数を見ると、20年以上という割合が高く、長くこの地区に住み続けている住民が多いことがわかります。

出典記載のないものは「横浜市統計情報ポータル」(令和7年3月現在)より引用しています。

## 区計画とのつながり／2本の柱と3つの取組の視点

区計画は、2本の柱「えん結び」と「元気いっぱい」に加え、3つの取組の視点で地域活動を支援していきます。



## 福祉・保健の身近な相談窓口

横浜市  
本牧原地域ケアプラザ



〒231-0821

横浜市中区本牧原6-1

☎045-623-0971 FAX:045-623-0977

●介護保険や福祉・保健サービスの提供、車いすなどの福祉用具の無料貸出を行っています。

●赤ちゃんから高齢者まで、地域の方々の相談を受け付けています。

## お問合せ先

横浜市中区役所  
福祉保健課 事業企画担当

〒231-0021

横浜市中区日本大通35番地

☎045-224-8330

FAX:045-224-8157

社会福祉法人  
横浜市中区社会福祉協議会

〒231-0023

横浜市中区山下町2

産業貿易センタービル4階

☎045-681-6664

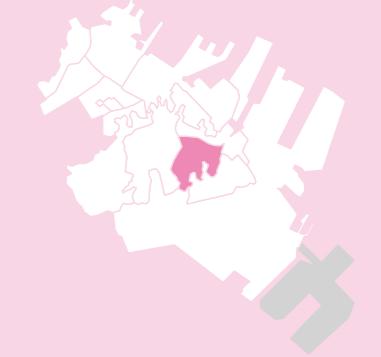
FAX:045-641-6078

第5期(令和8~12年度)

## 中区地域福祉保健計画

## 中なかいいいね!

## 目指すまちの姿

声がかけあえるまち  
第4地区南部

- 本郷町
- 本牧町
- 本牧満坂
- 本牧荒井の一部



詳しくは次のページを見てね!

横浜市地域福祉保健計画の  
キャラクター「ちふくちゃん」



## 第4地区南部の取組目標

### 1: もっと地域と活動を知って、参加してもらって、地域のつながりを作ります。

- マリンFMやSNSなど様々な情報媒体を活用し、歴史、文化、名所、伝統、豊かな自然などたくさんの魅力や地域情報を伝えていきます。
- 地域活動の担い手が減っている中で、負担感なく活動できるよう、方法を工夫して、交流する機会を持続けていきます。
- 活動している団体同士が連携し、お互いの利点をいかした活動をしていきます。
- こどもの活躍が見られる機会をつくり、若い世代も地域に関心をもてるようにします。

### 2: 誰もが声をかけ合えるまちにしています。

- 住民や地元企業を対象に認知症の理解を深めてもらい、認知症になっても暮らしやすいまちにしています。
- より身近な範囲での住民同士のつながりづくりを目指し、サロン等を行います。
- 企業と住民が連携し、ゆるやかに見守る地域づくりに取り組みます。
- 防災訓練やイベント等に障害のある方や外国人などいろいろな人が参加できるよう声をかけます。
- 身近な生活環境を良くするよう声をかけあって考えています。

### 3: 一人一人が自分に合った健康づくり・つながりづくりを進めます。

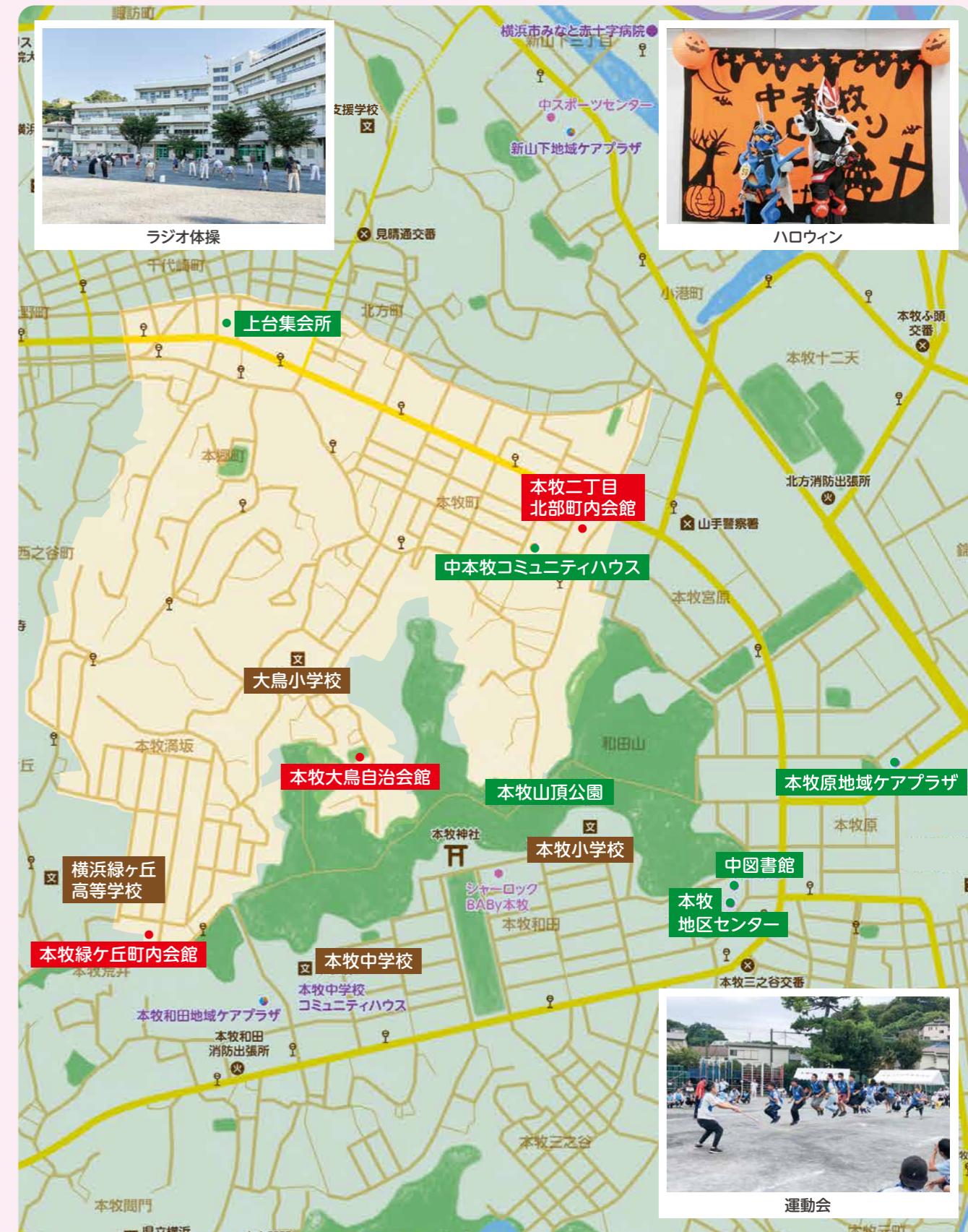
- 多世代ができるふれあいウォークや大運動会等で、健康づくりを進めます。
- 日ごろからウォーキングやラジオ体操等、身近な場所で、誰もが健康づくり・つながりづくりに参加できる機会をつくります。

## これまでの計画(第4期計画)の振り返り

こどもから高齢者まで幅広い世代が参加するイベントを通して、多世代のつながりが深まりました。横浜マリンFMやSNSなどの様々なツール、ミニサロンや食事会の集まりの場を通して必要な情報を必要な人に提供することができました。より身近な範囲で、地域に密着したミニサロンや健康教室、防災の取組が進み、近隣住民のつながりが深りました。4期ではコロナ禍も経験しましたが、できるだけイベント・行事を再開し、つながりをもてるようにしてきました。

## 第5期計画はこのように作りました

「本牧4南元気なまち運営員会」でグループワークやアンケートを実施し、地域活動を振り返りました。



## 第4地区南部はこんなまち!

開港前からの歴史と戦後のアメリカ文化の影響を受けた独特の本牧文化が形成されています。旧路面電車の通っていた本牧通りには現在では市営バスが頻繁に通り、住民の主要な交通機関となっています。また、急な坂や階段の多い住宅地と平地の商店街エリアからなり、住民が住んでいる場所の大半は丘陵地となっており、移動に課題が生じることもあります。住民同士のきずなは深く、地域でのお祭りやイベントが盛んに行われています。